

前略 今回は常体で。■今、学校現場ではワークシート(以下WSと略記)学習というのが流行しているようだ。先生は毎時間、課題や指示、解答・感想・自己評価等を書く欄を印刷したWSを子どもに配布し、記入させ、点検し、直させ、単元終了時等にその綴りを家庭に持ち帰らせ、指導している。●現勤務校では1時間目に教材を一読後、感想を書かせ、その感想を元に(先生が)作った「学習計画表」という1枚のWSを次の時間に配布し、以後それを元に各時間毎のWSを配り授業を進める。作文についても、読書感想文についても同じ。■WS学習の良さは、そこに今日の授業の課題が明確に書かれていることだ。●学習計画表には、学習内容と順番が示されているので、子どもも安心して取り組むことができる。●学習の記録が残り、自分の学習過程を見直すことができる。●学習計画表の流れが自学自習の流れであり、生涯学習の力になる。●保護者もWSから学習内容や子どもの課題を確認できる。■よく作られたWSは順にこなすことで読解力・表現力等のスキルを高めることができる。●力の弱い子へのヒントや、力のある子へのより発展的な内容を盛り込むこともできる。●先生もそれをこなせば、授業をしたことになる。分厚い指導書を読まなくていい。うっかり指導し忘れることがない。●新任の先生も他の先生と同様の成果を上げることができる。●原稿が残るので、内容をレベルアップできる。■勤務校では全校挙げて取り組んでおり、1年生1学期から少しずつステップアップする形で指導が行われる。●それ以外にも随所にラミネートしたマニュアルが作成され、子ども達はそれを見ながら学習や生活を進めている。●文科省の学力テストのB問題で高得点を上げているようだ。■良いことづくめだが、授業を見ていて、子どもを見ていて、違和感が。それを次号以降で。(文が多くて写真はなし)